



2011-2012年度 R.I. テーマ



「薔薇」 写真提供：長田 達明 会員



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

- ◆ 会長 森 國光 ◆ 幹事 三浦 茂
- ◆ 発行 会報委員会 1月担当 畠 山

## 第2153回例会 1月24日(火)

- ◆ 点 鐘 森 國光 会長
- ◆ 司 会 三浦 茂 幹事
- ◆ ローターソング 「我等の生業」

### ハッピーバースデー

- ・ 1月27日 長 田 夫人
- ・ 1月28日 千 田(則) 夫人

### ◆ 会長挨拶

皆さん、こんにちは。

先週は澤崎魚津市長を迎えて、魚津RC様と合同夜間例会が行われました。沢山の参加をいただきました。また、いつもと違う仲間達と意見の交換もあり、新しい友情の芽も生まれ、リフレッシュ出来たのではないのでしょうか。

前回の理事会で、田代君と沢泉さんの退会届けが受理されました。田代君は御高齢と御家族の件もあり、また沢泉さんは、どうしても叶えたい夢にチャレンジしたいということでもあります。

益々会員減少に陥りますが現実を受け止めて、冷静に

当たり前を当たり前で今私達に必要なのは、ただ闇雲に会員増強に走るだけでなく、一人一人が胸を張って、真のロータリアンとして仲間を迎えることの出来る魚津西RCで在りたい、と考えます。

何ととっても、楽しくなければロータリーでない。行動在るのみ。

### ◆ 出席報告 (柴垣委員)

- ・ 出席率 会員26名中(出席免除者1名) 16名 64.00%
- ・ 欠席者 畠山君、原君、廣濱君、石崎君、慶野君、大城君、関君、横谷君、吉田君の諸君
- ・ 前々回 (2151回) の修正  
メーク・アップ なし

### ◆ 幹事報告

○能美RCより

- ・ 2011-2012上半期会報

### ☆ 1月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
1 / 31(火)	卓話担当：R情報委員会	信金5階

創立1968年 (昭和43年) 5月27日〔第2610地区内創立順位19〕

例 会：火曜日 12:30 於. にかわ信用金庫本店5 F TEL (0765) 24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL (0765) 22-0715

★1月のSAA補助

牧野君・畠山君の諸君です。よろしくお願ひします。

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 413,000円

◆卓話「富山型デイサービスについて」



久津谷 俊行君

従来介護施設の形態は、高齢者は高齢者だけの施設、障害者は障害者だけの施設、子供達は幼稚園や保育所という具合に、それぞれ年齢や身体の状態によって定められていました。

富山型といわれるところは、この枠をとりはらって、誰でも利用できる場所として、富山市に住む看護師の惣万佳代子さんら同僚3人が、今から19年前に開設しました。しかも、このような形態を実現したのが全国でこの富山が最初だったということで「富山型」と呼ばれるようになりました。現在では県内に60カ所あり、全国的にもこの形が広がりつつあります。

富山型の特徴は、いつでも、誰でも利用できるということですが、これ以外に「家族としてとことんつきあう」「規則を設けないので自分なりの生活ができる」「日課がないので自分の自由がきく」そして、「誰が職員か利用者か区別がつかない」というのが特徴です。

私たちは誰でも自分なりの生活をしたいと思っています。特に高齢者は長年、苦勞をしてこられました。現在は病気で体の自由がきかないかも知れませんが、それでも生きる思いは若い人、健常者と変わりありません。

高齢になると、周囲から抑制され自由がきかなくなりますが、やはり住みやすいところで、しかも希望を叶えたいと思いながら生きています。

人によっては何もしないより、役割を持った方が生き甲斐を感じるという人もたくさんいます。

これからの介護施設は、これまでの「世話になる場所」から「世話をする場所」に移行しつつあります。特に女性の場合は炊事・洗濯・掃除といった日常の生活そのものが生き甲斐になります。孫や子供が周りにいることによって気持ちも活性化します。そしていろんな人が周りにいると気遣いするを通り越して元気になっていきます。

このような生活をすることによって精神的な豊かさが養われ生き生きしてるところが富山型の施設の特徴です。

今まで、介護施設といえば、身体の悪い人がぼんやり過ごしている暗い場所だというイメージがありましたが、実際には明るくてにぎやかなところですよ。それが富山型の施設です。

なぜ、こんな施設にしたいのかといえば、私自身の老後の生活の場所はこんなところであってほしいと思ったからです。いずれ私も病気になり身体が不自由になるでしょう。そうなったとき、誰からも縛られない生活、押しつけられない生活、誰からもしかられない生活、そしてせかさされないでゆっくりできる場所、そんなところで余生を送れたらと思っているからです。

そして、まさに富山型という居心地のいい場所が現実に存在するということを示しておきたいと思っています。

富山型をやってる人の多くはこういうところを目指して頑張っています。



## 第2154回例会 1月31日(火)

- ◆点 鐘 森 國光 会長
- ◆司 会 三浦 茂 幹事
- ◆ロータリーソング 「我等の生業」

### ◆会長挨拶

皆さん、こんにちは。

今年の雪は、県東部の魚津が圧倒的に多いようです。足下が悪いと売上げに響いてしまう飲食業にとっては、春が待ち遠しいです。

飲食業の売上げに対しての季節指数から言いますと、年間平均売上げに対して8月が130%に対し、1月が104%、2月が93%、3月が86%と1年でこれからが売上が取れない季節になります。除雪が空しいですね。

もう暫くは冬の気圧配置が続きそうですが、風邪を引かないように気をつけて冬を楽しみましょう。

### ◆出席報告 (柴垣委員)

- ・出席率 会員26名中(出席免除者1名) 18名 72.00%
- ・欠席者 原君、廣濱君、石崎君、宮崎君、大城君、関君、横谷君の諸君
- ・前々回 (2152回) の修正  
メイク・アップ なし

### ◆幹事報告

- 平行在来線等対策連絡協議会より  
・講演会のお知らせ

### ★2月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
2 / 7 (火)	卓話担当：国際奉仕委員会 理事会	信金 5階
2 / 14 (火)	卓話担当：未定 Rの友・情報紹介	信金 5階
2 / 21 (火)	夜間例会	喜 楽
2 / 28 (火)	卓話担当：鈴木君	信金 5階

### ★2月のSAA補助

加納さん・森本君の諸君です。よろしく申し上げます。

### ◆ニコニコボックス

今週末までの合計額 415,000円

## ◆卓 話 「地区青少年交換委員会」



慶 野 達 二 君

先週はロータリーの友の紹介に合わせて卓話も私の当番でしたが、欠席したために「友」の紹介を佐々木さんに、卓話を久津谷さんをお願いして失礼しました。

29日、日曜日に金沢にて、最近来日したオーストラリアからの留学生・女の子2名に対して日本でのマナーやルールそして留学の意義などを説明しました。最近では以前と比べて大変細かく、厳しく注意します。それは近年、送り出す日本の子供も受け入れる向こうの子供にも問題が生じることが出てきました。たとえば、先に射水クラブで受け入れてもらっているアメリカからの女の子ですが、なかなか日本の家庭になじまない相談がありました。私の立場上、通訳を連れて行き、本人・ホストファミリー・カウンセラーを交え話し合ってみると本人は難しい病気を持っていました。

アスペラー症候群 薬を飲んでいるし、自分のペースでないと生活ができない。

また、富山中クラブで預かってもらっているカナダの男の子も学校に行かない、ホストファミリーと交わらないと言って相談がありました。何度言ってもその場の返事をするけど生活態度は変わらない。先日こちらから送り出す学生11名と現在受け入れている学生7名が1泊2日で交流会をしました。その席ではこれから留学する日本の学生に自国の学校の授業についてなどや英語の発音などについてアドバイスをしていましたが、大変積極的だし友好的なので何の問題があるのかと思ったのですが、ホストファミリーは君に大変困っていると、改めてルール・マニュアルを掲示して、改善されなければ帰国させると厳しく注意をしました。どうもよくわかりませんが日本をなめているようです。

その後経過を聞きますと学校にも行き、家族とも話すようになったとのことで取敢えず安堵しています。

反対に向こうへ行った、こちらの子供たちにも時々問題が出ています。その一番多いのは英語が話せなく自分の部屋に閉じこもってしまうケースです。

受け入れ学生も派遣学生も問題の原因の一つはインターネットにあります。一日中部屋にこもってインターネットしていると誰とも交わらなくても一日を過ごすことが出来るからです。何のための留学なのか分からなくなります。

留学が始まったばかりの頃、しょうがないと許してしまうとズーとそのようなパターンになってしまいがちで

す。

今回、オーストラリアの子供たちにもいろいろな注意をしましたが、インターネット・メールは1日30分以内ときつく伝えました。

○その他伝えた規則は

- ①日本によろこそ（留学の意義）
- ②文化的教養（生け花・書道・お茶・空手など）
- ③食事
- ④服装
- ⑤言葉
- ⑥学校
- ⑦お金
- ⑧ロータリーについて

○良い留学生になるには

- ①親しみやすくする
- ②話し合う
- ③関わり合う
- ④礼儀作法とあいさつ

こんにちは、こんばんは、おはようございます、おげんきですか、どうぞ、ありがとう、喜んで、手伝いましょうか、～がすきです、すみません、どうぞお先に  
etc.

○学校は大切

君たちの留学ビザは学校に通うという前提で発行されている。

○旅行

2610地区以外への旅行

○ハラスメントへの対応

○アルコール、たばこ、恋愛、ドラッグ

○門限

○外人登録

今回、2人の受け入れ留学生は大人10名（青少年委員会7名、受け入れクラブから3名）と同席の中で、英文で書かれた20余ページのルール・マニュアル書を交互に読み上げ、また質疑に応じていました。その様子は日本の同年代の子供より大人を感じます。

また、2人とも基本的な日本語を話すことが出来、聞いていますとオーストラリアは日本語の授業があり、多くの学生が学んでいるそうです。

